

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 2 日作成)

小委員会名	鋼構造環境小委員会		主 査 名：兼光知巳 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)		委員長名：緑川光正 主 査 名：多田元英
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>目的：鋼構造における環境負荷削減のための方策として、建物の長寿命化、部材のリデュース・リユース・リサイクルなどの調査、研究を行う。</p> <p>初年度：「鋼構造環境配慮設計指針(案) 一部材リユース」の出版と講習会開催。</p> <p>2 年度：環境負荷削減に寄与する、次世代の要素技術の調査・研究の実施。</p> <p>3 年度：大会 PD の企画・開催および出版(次世代の要素技術)の準備。</p> <p>4 年度：出版のため素案の作成</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	<p>主査：兼光知巳(清水建設)</p> <p>幹事：岡崎太郎(北海道大学)</p> <p>委員：石原 直(建築研究所) 岩田 衛(神奈川大学) 木村 麗(建材試験センター)</p> <p>木村 衛(エイ構造研) 小岩和彦(三菱地所設計) 瀧 正哉(鹿島建設)</p> <p>長尾直治(耐震総合安全機構) 藤田哲也(日本設計) 藤田正則(山口大学)</p> <p>松元建三(積水化学工業) 緑川光正(北海道大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2015 年度予算	260,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 『鋼構造環境配慮設計指針(案) 一部材リユース』
講習会	1. 講習会「鋼構造環境配慮設計指針 一部材リユース」 参加者数 77名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 『鋼構造環境配慮設計指針(案) 一部材リユース』の出版と講習会を開催した。 2. 環境負荷削減を促進させることを目的に、次世代の要素技術の抽出と重点化の検討を開始した。
委員会活動の問題点・課題	1. 環境負荷削減の手法の一つである鋼構造の部材リユースについては、実施例が少なく社会システムとして広く普及するに至っていない。技術の調査・研究とともに、普及促進のための検討を行う必要がある。